

決算審査特別委員会

日 時 令和5年9月7日（木）

13：00～14：24

場 所 議場

出席者 委員長、副委員長、委員9名（欠席：なし）、山本議長

説明員 実延課長、岸防災監、川上室長

傍聴者 なし

書 記 浅田事務局長、川上書記

○近藤委員長 ただいまより、決算審査特別委員会を開会いたします。

令和4年度の決算を審査するに当たり、当特別委員会の委員長を拝命することとなりました。4年度予算が適正に執行されているか、委員のささいな疑問も臆することなくつまびらかにすることが当委員会の役割と考えます。どうか御協力をよろしくお願いいたします。また、再聞き取りの日程も設けておりますので、後日必要を感じた項目がありましたら事務局のほうへ申し出てください。審査意見については、その都度、事務局のほうへ提出をお願いいたします。

それでは、早速ですが、本日予定しております総務課の審査を行います。

まず最初に、令和4年度予算審査特別委員会における意見に対する対応の説明を総務課のほうよりお願いいたします。

実延総務課長。

○実延総務課長 失礼いたします。それでは、本日から決算審査特別委員会、よろしくお願いいたします。総務課の説明でございます。説明に入ります前に、説明員の紹介をさせていただきます。

私の隣、岸防災監兼総務室長でございます。

○岸防災監 よろしくお願ひします。

○実延総務課長 その隣、川上総括室長兼財務室長でございます。

○川上室長 よろしくお願ひします。

○実延総務課長 以上、よろしくお願いいたします。

それでは、初めに委員長からございました、令和4年度予算審査特別委員会の審査意見

に対する対応について御説明させていただきます。個別の事項は総務課はございませんでしたが、全般事項2点ございました。

1点目は予算編成の取組についてであります。指摘事項に対する取組についてであります。総合計画をはじめとする各種計画につきまして、予算編成はもとより予算の執行過程においても十分に確認しながら計画に沿った実行となるよう、改めて全庁で申合せを行ったところでございます。特に、予算編成過程におきましては各種計画を着実に反映させるため、新たに政策体系ヒアリングというものを設けまして、町長協議の機会でございます。各種計画との整合性や事業方針を確認・精査したところでございます。

また、再生可能エネルギー発電事業特別会計につきましては、住民課において県の工事と調整を図りながら、工事の早期完了に努めてまいりました。御指摘のとおり、売電収入に影響はいたしましたけども、繰入れ基準の見直し、基金条例の改正を行いまして運営の是正を図ったところでございます。このたびの監査意見も頂戴しております。今後、より正確な計画立てと事業実施について、予算編成から努めてまいりたいと思います。

続いて、2点目は、地域おこし協力隊についてであります。指摘事項には総務課、直接関係ございませんが、総務課は令和5年度からふるさと納税に係る隊員を計画しておりますが、今のところも採用に至ってない状況でございます。来年度募集につきましては、より早く募集できるよう現在も準備を進めているところでございます。以上、予算審査意見への取組状況についての説明とさせていただきます。

○近藤委員長 これにつきまして、委員の方より質疑を受けたいと思います。

岡本健三委員。

○岡本委員 地域おこし協力隊のことなんですけれども、採用に至ってない原因として、ここで指摘されてるのは時期の問題、募集時期の問題ということなんですけれども、それはまず検討されてるってということなんでしょうか。今年度は、今年度というか来年度に向けて早めの募集をされるということなんでしょうか。

○近藤委員長 すみません、これは参考事例として5年度の対応について、総務課の課長のほうから説明があったわけでありまして、4年度の審査意見にはこれは載っていませんので、あしからず御了承願いたいと思います。

そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようですので、それでは総務課の聞き取りを行いたいと思います。聞き取りに当たっては、この主要施策の成果及び財産に関する調書の冊子に沿って進行させていただきます。

す。26ページから36ページまで、取りあえずの説明を求めます。

實延総務課長。

○實延総務課長 それでは、総務課、27ページ、一般管理事務より説明させていただきます。一般管理事務、決算額2億7,686万4,401円。対前年度比較2,899万9,943円の減額でございます。不用額は、2,581万8,000円余りと職員人件費、役務費、町長交際費、障がい者作業委託費、各種負担金などで生じているところでございます。主な減額の要因でございます。住民税非課税世帯臨時特別給付金の扶助額が5,240万円の減額でございました。また、ふるさと納税に係る報償費も実績とともに減額しております。主な増額要因でございますが、職員給料、会計年度任用職員報酬、退職手当組合への負担金でございました。また、障がい者支援団体への作業委託時間につきましても、延べ238時間の減少となりましたが、コロナ予防のため消毒作業を行っていただいております。役場庁舎と福祉保健課を定期的に行っていただいております、非常に助かっているところでございました。

課題でございますが、ふるさと納税の取組についてでございます。今年度に入っの動きではありますけれども、現在、実績のある会社に委託しましてネットのサイトに掲載されるデザインや返礼品へのアドバイス、提案などを受けております。職員体制につきましては、いまだ地域おこし協力隊の採用には至っておりませんが、来年度の採用に向け継続して募集を行うよう準備進めてございます。

根本的な課題でございます。全国規模の返礼品の確立が必要と感じております。ただし、知名度不足というのは否めません。日南ブランドは農産物を中心に、高額返礼品は大山ブランド会との連携強化、リピーター獲得はいわゆる日南のファンを、日南ファンを定着していきたいと考えております。企業版ふるさと納税でございますが、鳥取県の西部圏域企業との取引がポイントと考えております。マッチングの場を増やすために金融機関とのコンサルティング契約を進め、実績につなげてまいりたいと考えております。主な執行経費、財源、その他成果等につきましては記載のとおりでございます。

続いて、28ページ下段、職員健康福利厚生事業でございます。決算額358万7,898円、比較28万6,118円のプラスでございます。主な増額要因でございますが、キャリアコンサルティング業務に係る報償費29万3,000円が純増となっております。内容ですが、管理職向けのマネジメント研修、一般職員向けのハラスメント研修を行ってございます。委託業務で行っておりますキャリアコンサルティング業務とは内容を分

けて実施したものでございますが、講師は同一の事業者でございます。その他として職員の健康診断、ストレスチェックを行い、実績は100%でございました。メンタルヘルス不調により休職を余儀なくされる職員もありますが、キャリアカウンセリングを通じて職員自身が事前に対処していく気づきや整理の場として行っている事業でございます。職員の心のサポート、働きやすい職場環境づくりに引き続き努めてまいりたいと考えております。主な執行経費、財源につきましては記載の内容でございます。

続きまして、29ページ上段、文書管理事務でございます。決算額692万4,992円、比較369万4,380円の増でございます。主な増額要因でございますが、個人情報事務取扱登録簿及び個人情報ファイル簿のウェブ台帳整備に伴う委託料として357万5,000円が純増でございます。その他の業務につきましては、じょうれいくんシステムによる法令管理、運用、コンシェルジュデスクの活用にも努めたところでございます。執行経費につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、下段、財政管理事務でございます。決算額1億9,819万5,010円、比較3億8,050万1,733円の減額でございます。大きく減額となった要因でございますが、公共施設等建設基金と財政調整基金への積立金が3億8,050万8,000円の減額となったことでございます。コロナ臨時交付金や特別交付税の活用などに努めた結果、多額の積立てに至ったところでございます。事業課と異なり町民の皆さんへ直接効果とはなりませんが、財源の確保、基金の有効活用など当初予算編成から引き続き努めてまいりたいと考えております。

続きまして、30ページ、町有財産整備管理事務でございます。決算額2,022万8,700円、比較840万1,930円の減額でございます。主な減額要因でございますが、生山駅クロバーの管理を地域づくり推進課へ移管したことによる減額。公共施設総合管理計画改定業務、公共施設の修繕料、公共用地の冬期手数料が減額となったところでございます。修繕のうち、ホームランド多里のトイレ修繕には過疎債を充当してございます。計画的な修繕、改修につきましては、個別施設計画に基づき運用していきたいと考えておりますけども、財政負担の平準化を図ることも取組課題の一つと考えております。活用、処分等含めまして、具体的検討は毎年の予算編成においてしっかりと議論・検討してまいりたいと思います。

続きまして、31ページ上段、庁舎管理事務でございます。決算額3,341万184円、比較1億6,717万8,782円の減額でございます。主な減額要因でございます

が、庁舎の空調設備改修工事費の皆減、皆減でございます。新規取組としましては、庁舎の一部を山陰合同銀行に貸し付け、それに伴う使用料が純増となったほか、国庫納付金が発生しております。ちなみに令和7年度までの返還予定で債務負担行為を頂戴しております。その他、光熱水費が120万円の増。修繕料は水回りの修繕により、100万円程度増額となっております。その他の事業成果、執行経費につきましては記載の内容でございます。

下段、庁用自動車管理事務でございます。決算額928万7,946円、比較213万6,024円の増額でございます。増額要因でございますが、公用車購入によるものでございます。令和3年度は小型乗用車、令和4年度はワンボックス車を購入し、比較して100万円程度増額となっております。その他、燃料、車検費用が増額となっております。主な執行経費につきましては記載の内容でございます。

続きまして、32ページ上段、交通安全対策事業でございます。決算額147万1,720円、比較12万1,752円の減額でございます。減額の要因でございますが、指導員の制服購入など需用費が減額しております。その他、執行経費につきましては記載の内容でございます。ちなみに今現在、31人の定員に対して27名の指導員の状況でございます。

続きまして、下段、自衛官募集事務でございます。決算額2万円、比較ゼロ円。例年どおり、国の委託金を受け、募集事務に協力している事業でございます。記載内容の執行経費、成果でございました。

続きまして、33ページ上段、選挙管理委員会一般事務でございます。決算額12万円、比較3,500円の増額でございます。ほぼ例年どおりの執行となっております。定期的な選挙管理委員会、定時登録に係る年4回の委員会を行っている事業でございます。

続きまして、33ページ下段から34ページ上段、町長選挙執行事務でございます。決算額537万3,605円、比較537万3,605円。新規事業のため純増となっております。実績については記載のとおりでございますが、投票率は78.5%。参考までに前回選挙がございましたのは平成22年、当時の投票率は75.6%でございました。

続きまして、34ページ下段、町議会議員選挙執行事務でございます。決算額43万7,052円、比較43万7,052円の純増でございます。令和5年4月の選挙に向け、事務の準備を行った内容でございます。執行経費については記載のとおりでございます。

続きまして、35ページ、県知事及び県議会議員選挙費でございます。決算額301万

8, 731円、比較同額でございます。こちらにつきましても令和5年4月の選挙に向け事務の準備を進めてまいりました。実績については記載の内容でございます。

続いて、36ページ、参議院議員選挙執行事務でございます。決算額895万2,612円、比較同額の純増でございます。実績につきましては記載の内容でございますけども、国の選挙ゆえの財源を活用し、開票作業に必要な備品、計数機2台と分類増設ユニットを購入してございます。投票率につきましては65.91%でございました。選挙区でございます。前回選挙となります令和元年の投票率につきましては、66.05%でございました。

以上、総務費までの説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○近藤委員長 ただいまより総務課の審査に移りたいと思います。審査に当たりましては各項目ごとに行っていきたいと思います。

それでは、27ページ上段、一般管理事務についての質問をお受けいたします。

岡本健三委員。

○岡本委員 この4月1日現在職員数という表が大変分かりやすい表なんですけれども、ちょっとこども園が教育委員会に移管になった関係なんではないかな、ちょっと定数条例との関係が分かりにくくなってるんで、そのところを教えてくださいと思います。定数条例だと議会の事務局の職員が2人、町長の事務局が71人、教育委員会事務局が29人、農業委員会2人、病院事業の職員80人というふうになってるんですが、それとの対応をお願いしますでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。こども園の職員さんですけれども、この表の中でいいますと一般行政、こちらのほうに含まれておりまして、教育行政にカウントされてる14名というのは、教育委員会事務局の職員のみというふうになっております。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そうすると、そのこども園の職員の方、一般行政に含まれている方と教育行政14名を含めて29名以内ということなんですかね。ごめんなさい、こども園の職員は何人おるか分かりますか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。こども園の正職員の人数ですけれども、令和4年4月1日現在ですけれども、13人となっております。

○近藤委員長 そのほかありませんか。

岡本健三委員。

○岡本委員 それで現状としては、あと病院も定数条例では80人で、病院が何人いるのかもちょっとはつきり分からないんですけれども、現状としては、現状というか、4年の4月1日時点として定数に対してはどうなってるんでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。役場職員の把握しかちょっとしてないんですけれども、役場職員の定数条例が全体として104名となっておりますけれども、それに対して実際の人数、合計ですけれども、令和4年の4月1日現在ですと100人というふうになっております。

○近藤委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

続きまして、28ページ、職員健康福利厚生事業についての質疑を求めます。

櫃田洋一委員。

○櫃田委員 各種この健康診断、ストレスチェックですとかキャリア支援等々、行われて数字も載っているんですけども、実際の成果をどのように捉えておられますでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。なかなか職員の人数も限られた中で、それぞれの抱えてる悩みであるとか、そういったような部分の相談等に十分に対応できない部分について、外部のこういう相談員さんに入ってもらうことで、その辺りの職員が抱えている悩みであるとか業務に対する負担感のそういう相談する窓口として機能してるかと思っております。また、メンタル的に不調を来す職員がかなり増えている中でも、そのような形で早期にそういう外部の相談員さんに間に入っていていただいて対応を協議させてもらったりする中で、早くにそういう職員との面談であるとか、そういうことを進めた結果、長期の休職に至らずに比較的短期間で病気休暇というようなところで復帰したという事例もありますので、この辺り効果は出ていると考えております。

○近藤委員長 櫃田洋一委員。

○櫃田委員 ストレスが多い現在この社会で、なかなかストレスをゼロにするのは全ての人は難しいと思うんですけども、実際にこういうことをされて、職員の健康管理をされて、それで働きやすい職場になってるのか、その前年度よりはなったのか、なるのか、これからもう少し課題があるのか、その辺りはいかがでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。なかなかすぐに十分に成果というのは難しいところがございますけれども、昨年度は特に職場巡視ということで、それぞれの課を衛生委員会のほうで回らせていただいて、それぞれのところで環境的にであるとか、そういった不具合であるとか、働きにくいところについて御意見をいただいて、それについて、全てについて改善ができたかということ、やはり予算の伴うものとかありまして解決できてない部分もございますけれども、すぐに対応ができるものについては対応もさせていただいて、一部でも解消されて、職員からはその辺りで少しは働きやすくなったというような意見もいただいております。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 まず、この表に載ってます対象者、これはその範囲はどこなのでしょう、教えてください。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。こちらについては、役場職員の正職員及び会計年度任用職員の人数の合計になります。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 役場職員ということは、じゃあ、こども園は入ってると、それで病院は除くという、そういう考え方でよいのでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。こども園職員は含めて、病院職員のみ除いた形の人数となっております。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そうすると、病院の職員の方は別に、何ていうんですかね、こういったストレスチェックみたいなことを病院でされてるということになりますか、もし御存じであればですけども。それをここで聞いてもあれか。（発言する者あり）まあそうですね、病院の質問は、分かりました。ちょっとそれはいいです。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。すみません、詳細について承知しておりませんが、恐らくはやっているかと思うんですけども、すみません、詳細について承知のほうしておりません。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 分かりました。それで4年度から保健師の方を配置したということで、職員の方の心身の健康管理に努めたということなんですけれども、具体的にはどういうことをされていて、どういう効果があったとかっていうのがあるか教えてもらえればと思いますけれども。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。日々の職員の様子あたりをチェックいただいたり、相談があるときには速やかに保健師のほうに相談いただいたりということで、より細かな対応ができたのではないかと考えております。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 つまり、だから相談を、何ていうんですかね、つまり相談できないような人のこともチェックして、それを見守りをしているというか、そういう役割をされてるということですね。

それであと、役場内と健康福祉センターは職場巡視しということだったんですけれども、これはそうすると、あとどこが含まれてないという感じなんでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。含まれていない施設としましては、各こども園、分園を含みますこども園と、あと図書館、美術館、あと各地域振興センターが昨年度は実施できておりません。これについては今年度、それらの施設も含めて巡視のほうをさせていただいたところです。

○近藤委員長 続きまして、29ページ上段、文書管理事務について質疑をお受けします。（「なし」と呼ぶ者あり）

続きまして、下段、財産管理事務について質疑をお受けいたします。（「なし」と呼ぶ者あり）

30ページ、町有財産整備管理事務について質疑をお受けいたします。

岡本健三委員。

○岡本委員 公共施設等個別施設計画に基づく予算査定をされたということなんですけれども、公共施設等個別施設計画によりますと、22年は、令和4年は約7億円ですかね、そのくらいの計画があったと思うんですけれども、これ結果的にどのくらいを実行したのかということを教えてもらえるでしょうか。

○近藤委員長 川上室長。

○川上室長 事業の成果指標の部分の、失礼しました。中段ですね、個別施設計画に基づく事業査定、政策体系ヒアリングの御質問というところだと思います。個別施設計画の中には全体で投資的経費に係る部分は10億で抑えるというまずは前提がございます。課長冒頭申し上げたところでございますが、この政策体系ヒアリングを加えるところで、まずは町長の施策、それから戦略的案件、そして投資的経費、こういった部分をしっかりと町長と協議をしながら、国の予算がちょうど出る頃ですので、それとマッチングをさせながら進んでまいりました。最終的には公共施設個別施設計画に基づく10億は下回っておりますけれども、必要に応じて前倒しにしたり後ろ倒しにしたりという部分がございます。最終的には投資的経費の部分は7億程度に収まったかなというところがありますが、公共施設個別施設計画には載っていないものも踏まえて、投資的経費部分というところで反映をさせておりますので、その点は御理解をいただきたいというふうに思っております。よろしくをお願いします。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 7億程度に収まったということですが、その辺、多分予算書を繰っていけばどれを、多分全部決算書を全部繰っていけば分かるんだとは思いますが、ちょっと一覧表みたいので頂けると分かりやすいと思うんですけれども、どうでしょうか。

○近藤委員長 川上室長。

○川上室長 御提供できるようにしたいと思います。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 あと参考までにお聞きするんですけれども、今話題になってる病院に関しては、これは全く別個、病院の事業のほうで管理されてるということですよ。

○近藤委員長 川上室長。

○川上室長 病院については今後の検討という、現在、あり方委員会等で話し合いが持たれております。ですので、財政的な資産ですとか、こういったものを順次進めておるところでありますけれども、現時点で幾らという金額はお示しもできませんし、今後の検討協議になるというふうに思っております。

○近藤委員長 ありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

ここで1点ほど、お伺いします。予算書で町有財産の処分とか解体、それから遊休町有地の売却をうたってありましたが、その実績とか実態について、件数についてお伺いします。

川上室長。

○川上室長 令和4年度の実績につきましては、同ページ、30ページの特定財源の内訳というところに財産売払い収入、総額では8万円という、土地についての売払いがございました。件数でありますけれども、対象者というか、売払いの物件については2件、2社ということで御理解いただければと思います。

○近藤委員長 ないようです。

31ページ、庁舎管理事務についての質疑をお受けいたします。

岡本健三委員。

○岡本委員 山陰合同銀行さんが庁舎に入られたということで、まだ11月14日に入ったということでまだ1年もたっていないわけですが、利用者の方の反応とか、あるいは利用者数の変化とかっていうのが分かれば教えてもらいたいんですけども。分からんかな。

○近藤委員長 分かりますか。

岸防災監。

○岸防災監 失礼します。山陰合同銀行さんの利用者数、利用実態ですけども、すみません、そこまでの数のほうについては報告等も求めておりませんので、承知してないところです。おおむね皆さんのほうからは利用しやすくなったとか、入り口からすぐスロープもなしというか、段差もなしに入れたりとかいうことで利用しやすくなったというようなお声のほうが多いかなとは感じております。

○近藤委員長 ありませんか。

ないようですので、下段、庁用自動車管理事務についての質疑をお受けいたします。

大西保委員。

○大西委員 2点お願いして、まず1点目は、予算のほうでバス運転手の報酬として、予算では80万の予算でしたが、実績が16万5,000円ということで、まあいろいろ事情があるとは思いますが、一番大きな減額要因は何でしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。4年度中はまだコロナ禍の影響もあり、バスの利用のほうもそこまで大きく伸びなかったというところと、あとはなるべく正規の職員の運転手のほうで対応できる部分についてはそちらのほうで対応するというふうになっておりますので、代替の運転手に頼ることも少なかったというところが要因だと考えております。

○近藤委員長 大西保委員。

○大西委員 令和4年度は車検問題がありました。ただ総務の関係じゃないとこなんでもいいんですが、予算のほうでは総務管轄は23台となっておりますが、実績自身は1台増えたということで24台でいいんでしょうか。現在、4月末、3月末か、令和4年度。総務の管轄の車両台数を教えてください。

○近藤委員長 保有台数分かりますか。

岸防災監。

○岸防災監 失礼します。役場庁舎で管理している台数が24台と、あと健康福祉センター、福祉保健課で管理してある車両の台数が7台で、総務課で管理してるのが31台というふうになっております。

○近藤委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

続きまして、32ページ上段、交通安全対策事業についての質疑を求めます。（「なし」と呼ぶ者あり）

下段、自衛官募集事務についての質疑を求めます。

岡本健三委員。

○岡本委員 説明会というのは毎年されてるということで承知しておりますけれども、違うか、これは案内を送付したってことですね。ごめんなさい。募集事務で案内を送付したということですが、名簿の提供というのはやってないというふうに認識をしておりますが、それでよろしかったでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。名簿の提供につきましては別途、自衛隊のほうから請求依頼がありまして、提供のほうをさせていただいてるというふうになってます。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 それいつからされてるんでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。すみません、いつから実施してるかというところにつきましては、ちょっと承知してないんですけども、私が担当といいますか総務課に来た昨年度の時点でもう既にされてたというのは承知してるので、昨年度、今年度はしているということなんですけども、すみません、いつからというのは、すみません、データを持ち合わせておりませんので、お願いします。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そうですか。ちょっとそれは私は勘違いしておりますて、もっと早く聞けばよかったんですけども、その辺りこれもう結構今問題になってることなんですけれども、1つ知りたいのは、提供するという、求めがあって提供するという、その判断をどういうふうにされたかということなんですけれども、ちょっと今、分からないですよ、多分。いつからやってるかっていうことも分からないようであれば、それは分からないですよ。あとそれと、もう一つお聞きしたいのは、名簿の提供をする際には、ちょっとすみません単語を失念しましたけれども、要するに私のところは出してくれるなという、そういうことを御家族とか本人からの申出でできるという、そういう制度があるはずなんですけれども、そのことの周知というのはきちんとされとるでしょうか。

○近藤委員長 實延総務課長。

○實延総務課長 詳細の事務につきましては、別個住民課で行っておりますので、詳細がちょっと把握すみません、私どももしておりますが、しかるべき手順によって事務を実施してございますので、その辺りは適正というふうに認識してございます。

○近藤委員長 荒金敏江委員。

○荒金委員 同じく自衛官の募集名簿を送付した、その該当者というのはどういう基準で決めているのでしょうか。

○近藤委員長 實延総務課長。

○實延総務課長 基準としましては、高校卒業時点の年齢といいますか、学年の者に送っているように認識してございます。

○近藤委員長 荒金敏江委員。

○荒金委員 名簿を提出される場合の個人情報なわけなんですけれども、名前、住所とかその内容はどういう内容で報告しているのでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。名簿の提供につきましては、先ほど課長も答弁したとおりなんですけれども、総務課のほうには1回そういう紹介の依頼が来まして、それを改めて住民課の担当のほうにお渡しして、それ以後の具体的なやり取りにつきましては、住民課の担当と自衛隊の担当のほうで具体的なやり取りがあって提供しているというふうに承知しておりますので、どこまでの情報を提供しているかっていうのは、すみません、こちらのほうでは詳しくは承知してないところになります。

○近藤委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり） ないようです。

続きまして、３３ページ、選挙管理委員会一般事務についての質疑をお受けいたします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

下段、町長選挙執行事務についての質疑をお受けいたします。（「なし」と呼ぶ者あり） ないようです。

続きまして、３４ページ、町議会議員選挙執行事務についての質疑をお受けいたします。

岡本健三委員。

○岡本委員 参考までにお聞きしますが、執行率が３０．６５％と非常に低いんですけれども、これはどういう要因でしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。選挙につきまして、同時期に別の選挙もほぼ同じような時期から準備行為等がありまして、そちらのほうでも経費の執行をさせていただいておりまして、その辺りでどちらかというともう一つの選挙のほうでの執行のほうで十分間に合ったといいますか、そちらの経費のほうで執行させていただいたということで、こちらのほうがその分、執行が少なかったということで御理解いただければと思います。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そうすると、同時期ということは知事選、県議選ということで、その経費で使ったと。はい、分かりました。

○近藤委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

続きまして３５ページ、県知事及び県議会議員選挙費についての質疑を求めます。

（「なし」と呼ぶ者あり） ないようです。

続きまして、参議院議員選挙執行事務についての質疑をお受けいたします。（「なし」と呼ぶ者あり） ないようです。

続きまして、ほんなら３７ページから４１ページまでの説明をお願いいたします。

實延総務課長。

○實延総務課長 それでは、３７ページ、非常備消防管理運営事務の説明に入らせていただきます。決算額１，６１１万４，６０３円、比較４３６万４，６１２円の増額でございます。増額要因でございますが、消防団員の報酬の取扱変更に伴うものでございます。それから、火災が６件発生いたしまして、出動の延べ数も２００人程度増えた実績でございます。それから、成果のところでございますが、操法大会には石見分団が出場され、西

部地区大会を優勝、県大会には3位という結果でございました。それから、秋季演習を令和4年度は山上で行わせていただいたほか、出初め式を3年ぶりに開催したところでございます。火災が多かった年度とはなりましたが、引き続き消防団員の皆様も報酬等の改定もございましたが、非常に高い規律の中で日々お勤めしながらも御尽力賜ってることに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。執行経費等につきましては記載のとおりでございます。

続いて、38ページでございます。消防施設整備管理事業でございます。決算額1億2,965万8,708円、比較2,393万5,618円の増額でございました。主な増額要因でございますが、大宮分団消防機庫を解体し、新築した工事費が皆増、純増しております。それから、その解体工事でございますが、52万5,000円。新築工事につきましては設計監理と合わせて2,245万9,000円の実績でございました。それから自衛消防団可搬ポンプにつきましては、町内自衛消防団に配備しています可搬ポンプの更新が一巡をしたところでございます。しばらくは様子を見させていただきたいと考えてございます。課題でございますけども、町内老朽しております消火栓や防火水槽をはじめ、標識やフェンスなど、指摘もいただいております。限られた予算の中でですが、計画的に更新していきたいと考えてございます。その他の、成果、執行経費、財源につきましては記載の内容でございます。

続きまして、39ページ、防災対策事業でございます。決算額1,151万9,854円、比較336万2,369円の減額でございました。主な減額要因でございますが、備品購入のうち、石見のコミュニティー助成事業、それからドローンの購入費分が皆減しております。合計で229万5,000円の減でございました。それから負担金補助及び交付金のうち、集落除雪対策支援事業補助金が皆減しております。また、避難所整備補助金につきましては、69万円ほど増額となりまして、これら合計で222万2,000円の減額となっております。また、コロナ感染症対策物品の購入、防災士の育成支援につきましては継続して実施してまいりました。成果にも記載をしてございますけども、この年度は南部町と大宮・菅沢地区によります広域避難訓練を行いました。こちらの取組が評価されまして、余談でございますが、今年度に入り、それぞれ表彰を受け、受賞される運びとなったところでございます。執行経費、特定財源の内容につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、40ページ、単独災害緊急対策事業でございます。決算額25万5,00

0円、比較192万9,000円の減額でございました。令和3年度繰越分を含みます2件の支援をさせていただきました。生山1か所、霞1か所の実績でございます。

続きまして、41ページ、公債費償還事務でございます。元金、利子それぞれに記載をしております。元金の決算額は7億4,726万5,151円、比較としまして1億3,541万2,635円の増。利子につきましては995万2,737円の決算額、比較しまして71万7,316円の増額でございました。元金、利子ともに増加傾向にございます。新規の借入れ抑制には努めているところでございますけども、利息につきましては今後も上昇傾向にございます。利率の見直しなど運用に努める一方で、借入額も留意しながらの運用に努めてまいりたいと思いますし、その辺り償還シミュレーションをしっかりと立てて財政運営に努めてまいりたいと考えております。

以上、公債費までの説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○近藤委員長 それでは、質疑を再開します。

37ページ、非常備消防管理運営事務についての質疑をお受けいたします。

岡本健三委員。

○岡本委員 やっぱり火災件数が6件に増えたというところが気になるんですけども、これは原因というか、どうして1件だったものが6件に増えてしまったとか、気候条件とかあるんでしょうか。ちょっと教えてください。

○近藤委員長 火災の内容でよろしいですか。要するに家屋火災であったり、畦畔火災であったりという。その内容について分かりますか。

岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。令和4年度は火災が6件発生したところですけども、その内訳ですけども、まず5月に2件、山林火災が2件発生しております。次に、8月ですけども、これも8月に2件ですけども、1件は下石見地内での建物火災、あともう1件は丸山地内での建物火災という内訳になっております。また、あと3月に、これも同じ月に2件発生しておりますけども、3月20日の日には萩原地内で草火災、あと3月25日、神戸土地内で建物火災という6件の内訳となっております。

○近藤委員長 という内訳であります。

岡本健三委員。

○岡本委員 建物火災っていうのはいろいろ多分原因はあると思うんですけども、漏電とか、もしかしたら何ていうか不審火みたいなものもあるのかもしれないけども、山林火

災についてはどうなのでしょう、原因ってというのが分かるのでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。5月に発生しました山林火災ですけれども、1件につきましてはその現場付近で工事のほうになされておりました。その工事においての若干火花が飛んだ、それがちょっと近くの枯れ草に燃え移りまして、若干そこから山林、林野のほうにちょっと火が入ったというような内容となっております。また、神戸上地内で起きました山林火災につきましては、ちょっとこれについてはあまり正直原因がちょっと特定できてないんですけれども、山林近くのところでの何かしらの残火といいますか、そういうあたりがくすぶってたものが夜になって発火したのではないかというような状況となっております。以上です。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 火災を防ぐという意味ではそういう、どういうことで火災が出るのかっていうことを十分知ってもらおうということも大切だと思うんですけれども、そういったことは広報というかはされてるのでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。消防団のほうでは4月には防火パレードということで火災啓発の啓発に各それぞれ分団のほうで各地区、啓発のほうに回っていただいているところですし、広域消防さんのほうでも定期的にそういう防火啓発で消防車、救急車でのパトロール等も行われてるところでございます。また、そういう火災注意報といいますか、そういう情報が西部消防局のほうから来た場合には、それに合わせた注意喚起の防災無線での放送であったり、恐らく年1回ぐらいは町報のほうでも火災についての注意喚起といいますか、そういったようなのをさせてもらっております。また、そういう西部圏域であったり鳥取県内でそういう火災が頻発する時期、やはり乾燥、空気が乾燥して火災が起こりやすい時期、そういったようなときには、そういったようなときで県内でそういう火災が頻発しているときには、それにも合わせてやはり町内でも防災無線等で注意喚起のほうを行っているというような状況です。

○近藤委員長 続きまして、38ページ、消防施設整備管理事業についての質疑をお受けいたします。

岡本健三委員。

○岡本委員 消火栓の更新を随時してられるわけですが、これ見積りというのはど

ういったふうに頼んでるんでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。令和4年度の実態といたしましては、過去の1基当たりの工事内容の概要について正確な仕様書という形ではないんですけれども、こういったような形で工事をした場合ということで、ちょっと事前に各社に見積り依頼をさせていただいて、それを踏まえて改めて正式に発注に係る見積り依頼をしてるというようなのが現状となっております。なかなか総務課のほうでの担当のほうでちょっと十分工事発注のその積算、その辺りがちょっとなかなか難しい部分もございまして、その辺り業者さんのほうにも協力いただきながら進めているところでございます。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そうすると、入札に参加されそうな業者さんについては事前にそれぞれ何ていうか見積り、その概要、場合によっては設計みたいなのも含めて、それぞれ出していたいてるという、それが言わば入札に参加するための条件みたいな感じになるんでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。あくまでそれは希望といいますか、出していただけたところは見積りを出していただいてということで、その出していただいたところの中から改めて指名をして入札という形ではございませんで、見積りを出す出さないにかかわらず、改めて正式な見積り依頼は共通して出させていただいてるというような状況です。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 これ何にかかわらずこういうこと問題になってくるのかもしれませんが、特にこの消火栓の工事とかは割と小さい工事なので町内の事業者さんが関わられるということで、小さい事業者さんがいるので問題になってくるかもしれませんが、見積りだけ出さされて入札はほかの事業者にとられてしまって、うちの設計で工事をしてるとかっていうようなことをおっしゃってる業者さんもおられて、何ていうか、どうなんでしょう、もうちょっとフェアなやり方というか、どうするのがいいのか、見積りに対してもお金を払ったほうがいいのかどうか、ちょっとその辺はよく分からないんですけれども、何かその辺りの公平なやり方っていうのはないものでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。先ほど委員おっしゃられるとおり、実際に見積り依頼をさ

せていただいた業者さんからの同様な御意見をいただいております。今年度につきましては、なるべく自前で設計ができるように何とか対応したいと考えておりまして、改善に向けて対応したいと思っておりますので、御理解いただければと思います。

○近藤委員長 それでは引き続きまして、39ページ、防災対策事業についての質疑を受けいたします。

岡本健三委員。

○岡本委員 すみません、ドローンの活用の実績を教えてもらえるでしょうか。1回訓練を見させてもらったときに、活用されてるのは拝見したんですけども、ほかにも実際の災害などで活用されてるのでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。4年度の活用実績につきましては、先ほど委員さんもおっしゃられたとおり、秋の秋季演習での消防の演習の様子をドローンで撮影、見学いただいたというところもございますし、あとは9月に台風での倒木被害があった箇所であるとか、冬場の雪での倒木被害があった箇所、こちらについてそれぞれドローンのほうで上空から撮影したりして、倒木の状況、なかなか山林の奥のほうに入っていくというのが難しい中でも、道路沿いからの撮影ということで簡便にできたということでやっております。また、令和5年度の予算要求等に向けてにつきましては、施設の改修につきまして特に屋根の部分の傷み具合、そういったようなところを屋根の上に上らなくてもドローンでの近場まで接近させて痛み具合を撮影して改修の必要のあるかどうかというような判断にさせていただいております。若干余談になりますけども、今年度につきましては、今年度といいますか、今日だったかもしれませんが、農地確認というところで、一部やはり前々からもちっとそういう話はあったかと思っておりますけども、農地の現地確認のほうにドローンでの撮影というのも活用を今年度行っております。以上です。

○近藤委員長 1点。南部町大木屋地区との広域避難訓練を実施され、表彰の栄にあずかったということですが、これの終了後の総括を共有されているのか、それと今後はどのような取組をされていくのか、お伺いしたいと思います。

岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。昨年10月に南部町との広域避難訓練を実施したところでございますが、実際、大木屋地区のほうから菅沢地区に避難していただくわけなんですけども、距離的には確かに南部町の下の方の避難所に避難されるよりは断然と距離として

は近いということで、このたびこういったような形でさせていただいたんですけども、やはり大木屋地区の地域の方からすると、近いとはいいいながらやはり避難するのは、移動して避難するというのはなかなか大変な部分があるということで、大木屋地区の方からはやはりなるべくなら大木屋地区地内で安全に避難できる場所を確保していただきたいというふうに、それは南部町のほうに要請があったところですし、こちら受け入れる側といたしましても、なかなか高齢化もしてる集落にはなりますので、自分たちの集落の中での避難でもなかなか手いっぱいなところもあるので、実際外部からの避難者を受け入れるというのは、なかなか難しい部分があるので、その場合には他集落からの応援も必要かなというふうに御意見としてはいただいております。今のところ、今後につきましては改めて南部町との協議にはなるんですけれども、現段階ではちょっとまだ今後具体的にどうしていくかっていうところはまだ協議がまだまとまってない状況でございます。以上です。

○近藤委員長　続きまして、40ページ、単独災害緊急対策事業についての質疑をお受けいたします。（「なし」と呼ぶ者あり）

続きまして、41ページ、公債費償還事務元金及び利子についての質疑をお受けいたします。

岡本健三委員。

○岡本委員　この償還シミュレーションというふうに書いてありますけれども、これはどういったものなのでしょうか。

○近藤委員長　川上室長。

○川上室長　公債費の償還シミュレーションの御質問をいただきました。財政担当課として今後将来負担をしっかりと見ていくために、現時点までで借入れを行いました起債の償還シミュレーションということで、後年度にわたりどれぐらい支払いをしなければならない義務的経費がどれぐらいあるか、また今後の借入れによりましてそれがどう変動していくかというものを手持ち資料として持っておるというところでございます。

○近藤委員長　岡本健三委員。

○岡本委員　じゃあ、確定してない部分についても試しに計算をされてるというようなことなのでしょうか。

○近藤委員長　川上室長。

○川上室長　実数については借入れが終わったものについてはシミュレーションにしっかりと反映ができますが、事業によっては繰越事業となる場合もあります。そういったものに

については、その当時いつ借りるかによっても政府の利率等が変わってきますので、なかなかそこはシミュレーションでしかありません。ただし、基本的には最悪のシナリオを描いた財政としてのしっかりとした戒めにもなるようなシミュレーションを立てているというところで御理解いただきたいと思います。

○近藤委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そういったものは情報としても非常に有効だと思うんですけども、不確定な要素があるんであまり公表はできないという感じなんでしょうか。

○近藤委員長 川上室長。

○川上室長 ありがとうございます。おっしゃるとおり、もちろんしっかりした整理をしていきたいと思いますが、いわゆる町民さんにとって不安要素をあおるような出し方は好ましくないと考えておりますので、現時点では公表はしておりませんが、随時、先ほどお話をしました政策体系ヒアリング、こういった予算編成の中ではそこをしっかりと町長と協議をしながら進めているというところで御理解いただきたいと思います。

○近藤委員長 以上をもちまして、総務課の決算審査の聞き取りを終了いたしました、全般に当たって質疑漏れがありましたら質疑をお受けいたします。

大西保委員

○大西委員 31ページの車輛管理についてちょっとすみません。総務の管轄は24台で福祉のほうで7台、トータル31台と言われましたが、地域づくりのほうの台数は地域づくりで車検費用とか全部そちらのほうでされてるのか、福祉保健課は福祉保健課で車検のほうの費用も全部入っておるのでしょうか、ちょっとそれをお伺いしたいんですが。

○近藤委員長 車検についての責任についての質問ですが。

岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。車検等の車輛管理については総務課で一元管理ということとでさせていただいておりますけれども、それぞれの例えばオイル交換であるとか車輛の実際の係るメンテナンス費用、そういったようなものについてはそれぞれ福祉保健課であったり地域づくり推進課、そちらのほうの予算で執行してるというような状況になります。

○近藤委員長 大西保委員。

○大西委員 令和4年度で車検切れのことがあったもので、その後、総務課がトータル管理をする、運行管理者ということありますのでそれはいいと思うんですが、実際に車検切れを起こさないために例えばドアの入り口に大きくシールするとか、このシールというの

は全ての車輛なのか地域づくりだけなのか、どこまでの範囲の車輛についてドア開けてこうされてるのか教えていただきたいです。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。車検の有効期限の表示については全ての車輛について見やすい位置に表示しておりまして、それぞれ運転する職員が目につくような形でそれぞれチェックするようになっておりますし、あと乗車するとき、鍵を借りるのも総務課のほうで貸出しにはなるんですけども、そちらに毎回乗るとき降りるときに記録簿をつけますけども、その記録簿の中にも車検の期限いつというふうにあって、なるべくその都度目にするような形で車検の有効期限見逃さないようにということで対応をしております。

○近藤委員長 大西保委員。

○大西委員 やはりその対策を打たれましたと、約1年たちました。3月末時点で結構ですけど、その効果が継続し、そしてあまりにも過負荷にならないように、あまりにも複雑するとシンプルにしないと、また形骸的にやったやったになってしまいますし、最後に台帳をチェックする場合にもあまりにも形骸的にやってしまう場合がありますんでね。ただ、言いたかったのは、つい最近でも新聞では今日の新聞でも車検切れとか出ておりますんでね、やはりいろんなところでやっぱ変化点、人が変わったとか、異動したとか、そういうときに特にありますんでね。二度とないと思いますけども、その辺の管理またよろしくお願いいたします。答弁は結構でございます。

○近藤委員長 そのほかありませんか。

高橋洋志委員。

○高橋委員 27ページと28ページの数字の相違についてちょっとお尋ねしたいんですが、職員さんの定員が177名ということで27ページに記載されておりまして、28ページの検診者の数字が175、ここで2名相違。それとストレスチェック、これの対象者が161名ということで、この人数の差をちょっと教えていただけないでしょうか。

○近藤委員長 岸防災監

○岸防災監 失礼いたします。すみません、表の数字ちょっといろいろといろんな数字が出てきて、ちょっと紛らわしいところがございますけれども、まず、27ページの定員管理状況のところの合計数字ですけれども、こちらについては病院の職員も含んだ形の人数となっております。続いての28ページに書いてある検診、ストレスチェックの人数については、こちらには病院の職員は含んでいない数字になってます。また、先ほどの定員管

理状況、27ページの数字につきましては、これは正職員のみ的人数となっております。

28ページの検診、ストレスチェックの対象者数には役場の正職員と会計年度任用職員の数字が含まれてるというような状況となっております。また、検診の対象者数、ストレスチェックの対象者数で数字が若干違ってるとというのが、そのそれぞれの検診であったりストレスチェックを受けるタイミングのときに育児休業でもう既に休んでいるとか、病休、休職で休んで、あとは会計年度さんの場合ですと途中で採用になって職員になる、または逆に途中で退職してしまうということもありまして、若干その受けるタイミングのときに人数がちょっと前後するところがございますので、微妙に数字が違ってるとこのような状況となっております。

○近藤委員長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

そのほかありませんか。

高橋洋志委員。

○高橋委員 32ページの自衛隊の自衛官募集事務についてですが、これポスターとかは多分向こうから送ってこられて、それを掲示場所に掲示されて、それにまつわる賃金が支払われていると思うんですが、この掲示場所っていうのは、あまり目にしないのですが、駅とかあとやっぱり商業施設にもございますですか。

○近藤委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。ここで書いておりますポスター掲示につきましては、あくまで自衛隊から役場のほうに役場庁舎内であるとか、そこでの掲示依頼が来るものなので、あくまで公共施設といいますか、役場関係の施設のみの掲示となっております。懸垂幕については庁舎の正面の広告塔、もしくは文化センター前の懸垂幕の掲示場所、その辺りに掲示のほうをさせてもらっております。また、年1回にはなりますけども、広報のほう、町報にちなんのほうでも自衛官募集の記事を一部掲載させていただいているような状況です。以上です。

○近藤委員長 高橋洋志委員。すみません、ボタンを押してから議長と言ってください。

○高橋委員 分かりました、失礼しました。

自衛官募集事務についてもう1回、掲示場所についてですが、御提案といいますか、これ御提案でもいいんですか。町の施設の中に町営バスのでっかいのが定期で走ってるのがありますが、あれの車内に掲示できるような形になっておりますが、そこも有効利用されたいかがかと思うんですが、いかがなものでしょうか。（発言する者あり）

○近藤委員長 すみません、取下げということによろしいですか、質問。

○高橋委員 はい。

○近藤委員長 すみません。そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようですので、本日の決算審査特別委員会を終了いたします。御苦労さんでした。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

委員長

副委員長